

# 令和6年度 日之影町立日之影中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。  
 4:期待以上、 3:期待どおり、 2:やや期待を下回る、 1:改善が必要  
 ○「評価者」… 「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策		第一次評価者所見	評価		
				第一次	第二次	第三次
学力向上	ア	学力向上の基盤となる、子どもたちの「学びに向かう力」や「進路実現への意欲」を向上させるような教育を推進する。	ひのかげ近未来会議に向けた探究学習(3年生)や伝統文化講話(1年生)、文化祭での伝統芸能の発表(1・2年生)など、全学年で総合的な学習の時間において地域の方々との協働によるキャリア教育に取り組んだ。評価結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は、期待どおりであった。ひのかげ近未来会議の在り方も含め、全学年を通した指導計画を見直していき、意欲等の向上を図りたい。	3	3	3
	イ	生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導・支援に努め、基礎的な学力の定着を図る。	個に応じた指導については、タブレット端末を活用してAI型ドリルQubenaで復習に取り組む等、生徒一人一人の理解度に応じた取組を行った。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は、ともに期待どおりであった。今後も各教科において指導方法の工夫・改善に取り組み、確かな学力の定着を目指すとともに、保護者へも取組の周知を図りたい。	3	3	3
	ウ	生徒の思考力や表現力、対話力を高めるための指導方法の工夫・改善に努める。	全職員で特に、対話力を高めるための学習指導の在り方について研究し、課題設定や指導方法等の工夫改善に取り組んだ。みやざき学力学習状況調査(1年)の結果では、平均正答率は2教科で県全体を上回っていた。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は、ともに期待どおりであった。今後も思考力や表現力、対話力を高める指導方法の工夫・改善に取り組み、対話力等の向上を目指していきたい。	3	3	3
	エ	読解力向上を目指した読書活動やICTを効果的に活用した学習を推進する。	読書活動については、地域の方による定期的な読み聞かせや生徒会活動による図書館利用の推進等を行い、環境づくりに取り組んだ。ICTの効果的な活用については、職員研修や研究授業、相互授業参観等により職員間で研鑽に励み、授業においても積極的に活用を行った。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は、ともに期待どおりであった。次年度は、さらにICT機器の効果的な活用方法について、情報収集や情報共有に努めていきたい。	3	3	3
生徒指導・心の教育	オ	道徳教育や人権教育の充実に努め、ふるさとを大切に、他人への思いやりにあふれた心を育む。	道徳教育については、道徳の時間をはじめ、学校保健委員会(参観日)の機会を活用した体づくり講演会の実施等、保護者や地域の方との連携を図った。総合的な学習の時間では、地域と連携し、ふるさとの伝統芸能に関する学習等に取り組んだ。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は期待どおりであった。今後も、取組の充実に努めたい。	3	3	3
	カ	生徒一人一人に寄り添った支援や声かけ、教育相談などに努めながら、生徒の自尊感情を高める。	定期的に生徒にアンケートを実施し、それに伴う教育相談を行って生徒理解に努めた。また、毎週1回職朝にて、生徒の様子について情報共有を行い、支援の必要な生徒への対応の仕方等を確認した。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からの評価は期待どおりであった。今後の取組・対応について改善を図りたい。	3	3	3
	キ	各行事や学習活動における生徒の活躍の場や活動の支援充実により、生徒が何事にも前向きに取り組む困難を乗り越えようとする態度を育む。	体育大会や文化祭、総合的な学習の時間におけるひのかげ近未来会議(3年)や職場体験学習発表会(2年生)、日之影PR発表会(1年)、生徒会活動での発表等、生徒の発表の場を設定するとともに、主体的に活動するよう取り組んだ。結果の評価としては、職員、生徒、保護者からは期待どおりであった。今後、生徒の活躍の場の確保や支援の充実など改善を図りたい。	3	3	3
体力向上・安全指導	ク	授業や体育的行事、部活動などの充実に努め、子どもたちの心身の健康や体力を向上させる。	心身の健康や体力向上を目指し、普段の体育の授業や外部講師による武道の授業、体育大会や駅伝・ロードレース大会等の体育的行事に取り組んだ。運動部活動では、地区大会で優秀な成績を収め、県大会に多数出場することができ、文化部活動では、少人数ながら、優秀な成績を収めた。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からは期待どおりであった。今後も授業や体育的行事、部活動を充実させ、生徒の心身の健康や体力テスト結果向上に取り組むたい。	4	3	4
	ケ	校内指導の充実の他、保健関係の通信や連絡によって家庭との連携を強め、健康安全や食育への意識を高める。	保健室前掲示板の活用や保健だよりの発行において、時期に合わせた話題や情報提供を行った。外部講師を招聘した学校保健員会(成長期の体づくり)や薬物乱用防止教室、給食感謝集会、SOS出し方教室、か母ちゃっ子クラブによる性教育等、保護者への参加呼びかけを行い、家庭との連携を進めた。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からは期待どおりであった。次年度はさらに家庭との連携や指導体制の充実を図る取組を行っていきたい。	3	3	3
家庭・地域との連携	コ	地域との協働によるキャリア教育を充実させ、子どもたちに郷土愛や将来における自己実現への意欲を高める。	キャリア教育については、ひのかげ近未来会議をはじめ、文化祭での伝統芸能発表など、各学年において、地域の方々からのご支援により、充実を図ることができ、郷土愛を育むことができた。評価の結果としては、職員、生徒、保護者からは期待どおりであった。次年度は内容の見直し、さらに充実が図れるように取り組んでいきたい。	3	3	3
	サ	学校だよりやホームページ等を活用した学校教育の情報発信に努め、学校の教育に対する地域やPTAの理解を促進する。	学校の様子については、各学年からの「学校通信」や校長からの「学校だより」、学校ホームページ、保健だより、図書だより等、各家庭や地域に、定期的に発信した。評価の結果としては、職員、生徒、保護者ともに期待どおりであった。次年度は、より評価をしていただけるよう、発信内容を工夫し、情報発信に努めていきたい。	4	3	3